



MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 25

【実例紹介】MMWINの情報連携が役立った実例をご紹介します

(実例協力：やもと内科クリニック院長 佐藤和生先生)

【CASE 1】60歳・男性／2型糖尿病で通院中

持続タンパク尿があり、腎機能低下が疑われた。このため、病院（MMWIN参加）の腎臓内科に紹介した。腎臓内科での検査状況などをチェックすることができた。また、その後の受診状況についても、確認することができ、眼科へ紹介されたことも確認できた。

【CASE 2】60歳・女性／病院（MMWIN参加）から紹介



病院（MMWIN参加）に肺炎発作のため受診、入院となった。発作が落ち着き、慢性肺炎と診断された。状態が安定したものの、隣性糖尿病を発症。状態が安定していることから当院に紹介となった。血糖コントロール、脂質コントロール、血圧コントロールは安定し、経過は良好だった。定期的スクリーニングで心電図と胸部X-Pを撮影したところ胸部陰影が描出された。胸部CTを撮影。右上肺野に空洞形成を持つ腫瘤あり。咳・痰などの、感冒様症状は認められず喀痰検査ができなかった。陰影について診断がつけられなかったため、病院（MMWIN参加）の呼吸器内科に紹介した。紹介後、気管支鏡検査を施行された。気管支洗浄液から結核菌は検出されなかったものの、PCRで結核菌の遺伝子を検出され、肺結核と診断された。診断根拠となった検査や入院期間などをMMWINの地域連携で確認することができた。

【CASE 3】看護師による内視鏡検査前の抗凝固剤確認

内視鏡検査で観察だけの場合は、抗凝固剤などが投与されていても問題はない。しかし、生検を施行するとなると、出血の危険を考え、ガイドラインに沿った抗凝固剤などの中止が必要となる。自院の投薬状況に関しては確認が可能だが、他院での投薬状況についてはお薬手帳での確認となる。しかし、お薬手帳を忘れてくる患者さんも多い。このような場合、あらためて来院してもらい、お薬手帳を見せてもらうことになる。しかし、MMWINに加入している患者についてはMMWINのビューアーを用いて投薬内容を確認することができる。とくに、投与薬剤の情報については病院や診療所からの「処方情報」だけでなく、調剤薬局での「調剤情報」からも確認できる。つまり、他の診療所からのデータだけでなく、加入薬局からのデータによっても、確認することが可能となる。投薬された診療所、医師についても確認が可能となり、投薬している医師に、中止が可能かどうかの確認も可能となる。



お問合せ先：

（一社）みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

【住所】仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館6階

【事務局TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp

『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。